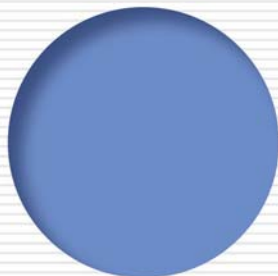


# BUSINESS REPORT



## FUJI ビジネスレポート

第44期第2四半期累計期間  
平成20年4月1日から平成20年9月30日まで



株式会社 藤商事



JASDAQ  
(証券コード 6257)



# I aru idea.

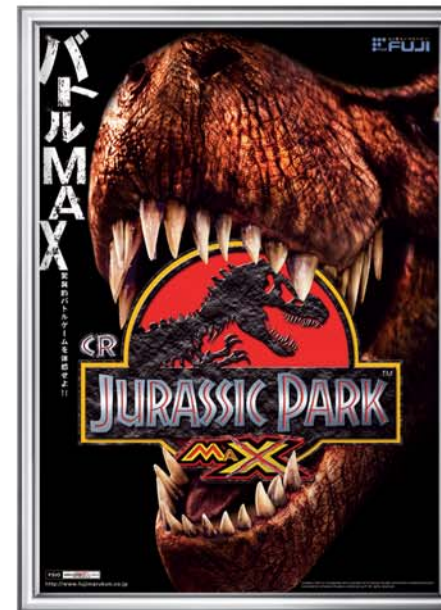


ここに、愛があるアイデアがある。

夢見る人に次々と。ヒト味違う“オモシロ”さ！



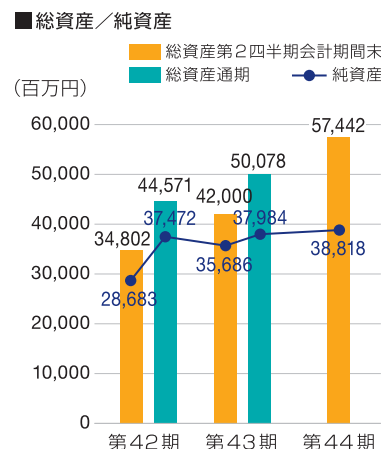
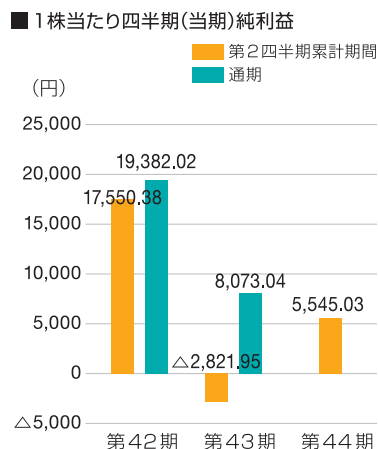
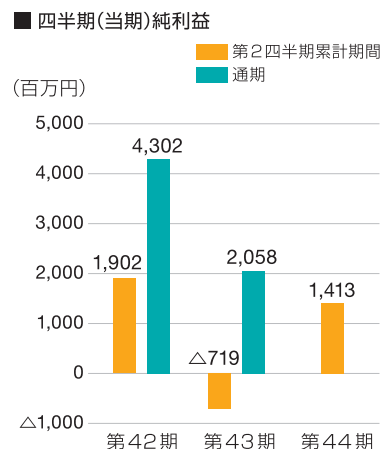
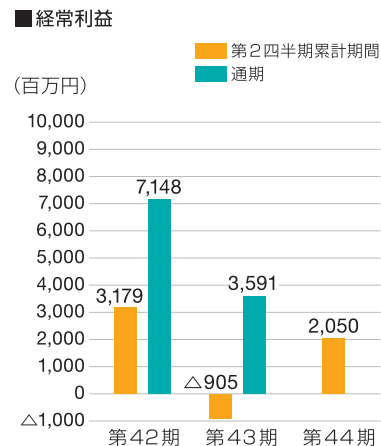
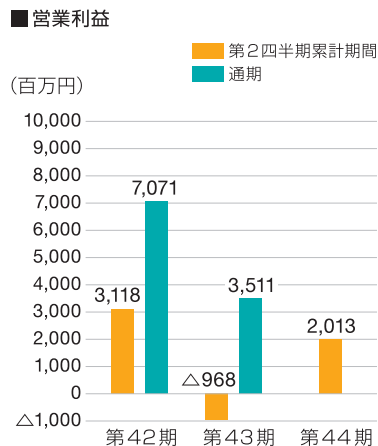
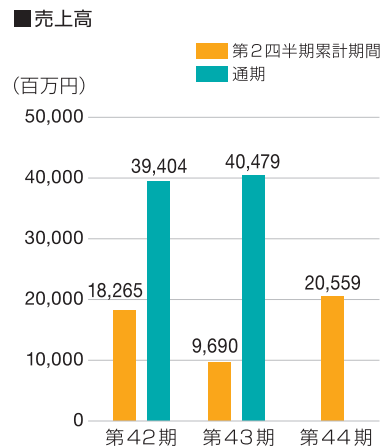
パチンコ遊技機  
「CR 鞍馬天狗」



パチンコ遊技機  
「CR ジュラシックパークMAX」



パチンコ遊技機  
「CR 暴れん坊将軍3」



## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

ここに第44期第2四半期累計期間ビジネスレポートをお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当第2四半期累計期間のパチンコ・パチスロ業界におきましては、パチンコ参加人口が依然として減少傾向にあり、パチンコホールの経営環境は、一段と厳しさを増しています。

このような状況の中、当社は、これまで培ってきた技術・ノウハウをベースに、ゲーム性・商品性を重視した遊技機づくりに全力を傾けてきました。そして、新たなファンの創造に向けて、TVコマーシャルをはじめとする幅広いプロモーション活動に力を入れています。

こうした取り組みが実を結び始め、当第2四半期累計期間の業績は、パチンコ遊技機の販売台数が当初の計画を上回り、大幅な増収となったことから、利益につきましては、損失を計上した前年同期から大幅な黒字転換を図ることができました。

当社は、コーポレートスローガンとして掲げる「ヒト味違う「オモシロ」さ!」を継続して追求し、魅力あふれる新機種を創出することで、さらなる成長を実現していきたいと思っております。

株主の皆様には今後ともご指導、ご鞭撻のほど、心よりお願い申し上げます。

平成20年12月

代表取締役社長  
松元 邦夫



社長インタビュー

**Q1 増収増益となった当第2四半期累計期間を振り返っての総括をお願いします。**

**A1**

パチンコ遊技機では、「CR鞍馬天狗」「CRジュラシックパークMAX」「CR暴れん坊将軍3」の3機種を市場に投入し、すべての機種において販売計画を達成することができました。

特に、業績向上の牽引力となったのは、益商戦に合わせてタイムリーに投入した「CRジュラシックパークMAX」と、ヒットシリーズの第3弾となる「CR暴れん坊将軍3」です。

企画部門・開発部門・営業部門が密に連携し、ゲーム性・商品性を備えた遊技機の創出に一丸となって取り組めたことが大きな成果をもたらした要因ではないかと改めて実感しています。

その結果として、売上高、利益ともに前年同期から大幅に改善し、10月17日には業績予想の上方修正を公表させていただきました。パチンコホールの経営環境が一段と

当第2四半期累計期間の発売ラインナップ

パチンコ遊技機

- 4月 「CR鞍馬天狗」
- 7月 「CRジュラシックパークMAX」
- 9月 「CR暴れん坊将軍3」

パチスロ遊技機

- 9月 「パチスロ アカギ」

厳しくなるなかで、新機種の導入においては、話題性や集客力だけでなく、高い稼働率によって収益を確保できる機種に絞り込む傾向が強まっています。そのようなホール様のニーズに的確に対応できたことが、当初の予想を上回る受注につながったと考えます。

さらに、パチンコ遊技機では、「CR暴れん坊将軍3」が10月以降にも相当数ホール様に導入されることや、パチスロ遊技機については、「パチスロ アカギ」の販売台数が増加していることなどを踏まえ、通期の業績予想においても上方修正を行なっています。

**Q2 競争力の強化に向けた課題について、お聞かせください。**

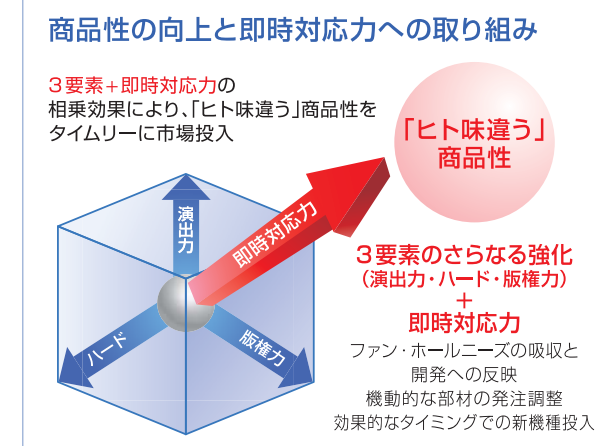
**A2**

当社がメーカー間の競合に勝ち抜いていくために優先して取り組まなければならない課題は、「ヒト味違う商品性のスピーディーな実現」です。当社では、以前より「演出力」「版權力」「ハード」の3要素の強化を商品性アップの重要戦略として推進してきましたが、それらの要素に加え、当期からは「即時対応力」の強化にも力を入れています。

具体的には、ホール様、ファンの皆様のニーズを吸収するための仕組みづくりと、開発部門への迅速なフィードバック、そして、生産部材の発注調整力の向上や、効果的なタイミングで新機種を発売できる社内体制の整備などです。

当第2四半期累計期間の業績向上は、3要素とともに、「即時対応力」にも注力したことが、成果として表れてきたものと認識しています。

今後も、業績計画の達成、さらには販売シェアの拡大に向けて、ファンの皆様が「面白い、楽しい、何度打っても飽きない」と感じていただけるような商品性の高い新機種をどんどん開発していきたいと思えます。



**Q3 年末年始商戦を見据え、下半期はどのような展開をお考えですか。**

**A3**

パチンコ遊技機では、年末年始において、競合他社から有力機種の投入が見込まれます。当社では、年末商戦前の10月から「CRゴースト ニューヨークの幻」の販売を開始し、11月下旬以降、全国各地のホール様に順次納品を開始しております。そして、第4四半期に販売を予定している新機種についても、鋭意準備を進めているところです。

パチスロ遊技機につきましては、「パチスロ アカギ」に

続き、版權機種を準備しており、タイミングを見極め、市場に投入していきたいと思えます。

**Q4 最後に、株主還元に対する基本的な考え方を教えてください。**

**A4**

当社は、企業価値の向上とともに、株主の皆様に適正な利益還元を図ることを経営の重要課題と位置づけています。そのため、配当につきましては、継続した配当を基本方針としつつ、経営成績および配当性向などを総合的に勘案し、実施してまいりたいと考えております。

今後とも株主の皆様には変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



シリーズ最大数の  
役物搭載!!

舞台は整った!!



軒

江戸城役物

振動が  
始まると  
好機到来!!

火消し  
モード時や、  
め組演出の  
際に動く!!  
まとい役物



軒

家紋役物

家紋落下で上様の  
決め台詞が始まる!!



ミネ返し役物

役物がミネ返しをすれば何かが始まる!



ジャンキン!!

余の顔を見忘れたか!

「CR暴れん坊将軍3」がついに登場!

本機種は、シリーズ最大級となる

4つの可動役物を搭載。そして、

暴れん坊実写殺陣リーチ

将軍チャレンジ目

連続暴れん坊予告

の3つで構成される 灼熱トライアングル

により、大当りへの期待は最高潮に。

プレイヤーの「心」を追求した、灼熱演出を新搭載し、

徳川吉宗がホールに帰ってきました!

CR 暴れん坊将軍3  
~天下の悪党成敗編~

© 東映

## 経営成績に関する分析

### 第2四半期累計期間の経営成績

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱や、原油や穀物の価格高騰などが、企業収益を圧迫し、一層減速感が強まってまいりました。

パチンコホール業界におきましては、ファン人口の減少による集客競争が厳しさを増しており、集客力の維持を図るうえで新台入替を中心とした営業戦略を展開しておりますが、本年は北海道洞爺湖サミット開催にともない、5月下旬から7月下旬頃にかけて、全国各地のパチンコホール業界団体が遊技機の入替を自粛いたしました。

遊技機業界におきましては、サミット開催により、実質的な遊技機の販売時期が限定され、競合機種がサミット開催の前後に集中して発売されるなど、販売競争は厳しさを増しました。

このような状況のもと、当社のパチンコ遊技機事業におきましては、4月に「CR鞍馬天狗」の納品を開始し、短期間の商戦に対応した販売活動を推進したことにより、順調な販売実績となりました。

また、7月下旬から納品を開始いたしました「CRジュラシックパークMAX」につきましては、パチンコホールの注目度が高まっているスペックを備えていたことや、益商戦に向けたタイムリーな新機種の投入となったことにより、当初の計画を上回る販売実績となりました。

続いて、9月下旬から納品を開始いたしました「CR暴

れん坊将軍3」につきましては、大型版權シリーズ第3弾として、発売当初よりパチンコホールの注目を集めるとともに、CM放映による宣伝効果もあり、当初の計画を上回る受注実績となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高205億59百万円(対前年同期比112.2%増)、営業利益20億13百万円(前年同期は営業損失9億68百万円)、経常利益20億50百万円(前年同期は経常損失9億5百万円)、四半期純利益14億13百万円(前年同期は中間純損失7億19百万円)となりました。

事業の部門別の状況は次のとおりであります。

#### ■パチンコ遊技機事業

パチンコ遊技機事業につきましては、「CR鞍馬天狗」(平成20年4月発売)、「CRジュラシックパークMAX」(平成20年7月発売)、「CR暴れん坊将軍3」(平成20年9月発売)を市場投入し、販売台数は73千台(対前年同期比67.6%増)、売上高は205億52百万円(同121.2%増)となりました。

#### ■パチスロ遊技機事業

パチスロ遊技機事業につきましては、「パチスロ アカギ」(平成20年9月発売)を一部のパチンコホールに対して先行納品したことにより、売上高は6百万円(同98.3%減)となりました。

### 通期の見通し

当第3・第4四半期のパチンコホール業界の見通しにつきましては、資金調達面では金融機関の融資姿勢の硬化による影響や、収益面ではパチンコ遊技機と比較して、パチスロ遊技機の稼働が依然として低迷していることなどから、引き続き厳しい経営環境が続くものと思われま

す。当社といたしましては、版權の話題性はもとより、映像や楽曲、効果音、演出の作り込みにより、商品性にさらなる磨きをかけ、パチンコ・パチスロファンの皆様には、「面白い、楽しい、何度打っても飽きない」とご満足していただくとともに、長期間の稼働を通じて、パチンコホールの収益向上に貢献できる遊技機を投入してまいります。

当第3四半期のパチンコ遊技機につきましては、10月中旬より手軽に遊べるタイプのスペックも備えた「CRテリーチューンズマイティマウス」の納品を開始しており、10月下旬からは、新機種「CRゴースト ニューヨークの

幻」の販売を開始しております。また、当第4四半期におきましては、競合他社から有力機種の発売が見込まれるため、より効果的なタイミングで新機種を発売できるよう、鋭意準備を進めております。

一方、パチスロ遊技機につきましては、「パチスロ アカギ」の販売が順調に推移しており、次機種につきましても、準備が整い次第、適時販売を開始する見込みです。

このような取り組みにより、当第3・第4四半期におきましても、パチンコホール・パチンコファンの皆様から引き続きご支持をいただけますよう、「ヒト味違う」商品力を備えた遊技機をタイムリーに市場投入し、販売台数の確保に努めてまいります。

なお、平成21年3月期の業績見通しにつきましては、平成20年10月17日に公表いたしました、「業績予想の修正に関するお知らせ」からの変更はございません。



■ 四半期貸借対照表

単位：百万円

科目	当第2四半期 会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)	科目	当第2四半期 会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>			<b>流動負債</b>		
現金及び預金	20,376	21,303	買掛金	12,779	9,226
受取手形及び売掛金	10,036	8,864	未払法人税等	779	314
有価証券	3,104	1,101	賞与引当金	431	316
商品及び製品	4,423	99	役員賞与引当金	—	90
原材料及び貯蔵品	2,647	2,265	その他	3,286	864
前渡金	943	1,189	<b>流動負債合計</b>	<b>17,277</b>	<b>10,811</b>
繰延税金資産	567	438	<b>固定負債</b>		
その他	458	397	退職給付引当金	578	530
貸倒引当金	△53	△46	役員退職慰労引当金	—	699
<b>流動資産合計</b>	<b>42,505</b>	<b>35,611</b>	その他	768	53
<b>固定資産</b>			<b>固定負債合計</b>	<b>1,347</b>	<b>1,283</b>
<b>有形固定資産</b>			<b>負債合計</b>	<b>18,624</b>	<b>12,094</b>
建物（純額）	2,539	2,584	<b>純資産の部</b>		
機械及び装置（純額）	1,363	1,643	<b>株主資本</b>		
工具、器具及び備品（純額）	1,605	1,261	資本金	3,281	3,281
土地	4,363	4,363	資本剰余金	3,258	3,258
その他（純額）	109	163	利益剰余金	32,273	31,433
<b>有形固定資産合計</b>	<b>9,981</b>	<b>10,016</b>	<b>株主資本合計</b>	<b>38,813</b>	<b>37,973</b>
<b>無形固定資産</b>			<b>評価・換算差額等</b>		
投資その他の資産	192	228	その他有価証券評価差額金	4	10
長期前払費用	3,047	3,098	<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>4</b>	<b>10</b>
その他	1,736	1,156	<b>純資産合計</b>		
貸倒引当金	△20	△32	<b>純資産合計</b>	<b>38,818</b>	<b>37,984</b>
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>4,763</b>	<b>4,222</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>57,442</b>	<b>50,078</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>14,937</b>	<b>14,466</b>			
<b>資産合計</b>	<b>57,442</b>	<b>50,078</b>			

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期損益計算書（第2四半期累計期間） 単位：百万円

科目	当第2四半期 累計期間 (H20.4.1~H20.9.30)
<b>売上高</b>	<b>20,559</b>
売上原価	11,707
<b>売上総利益</b>	<b>8,851</b>
販売費及び一般管理費	6,838
<b>営業利益</b>	<b>2,013</b>
<b>営業外収益</b>	
受取賃貸料	41
利用分量配当金	9
その他	26
<b>営業外収益合計</b>	<b>78</b>
<b>営業外費用</b>	
シンジケートローン手数料	24
賃貸収入原価	13
その他	2
<b>営業外費用合計</b>	<b>40</b>
<b>経常利益</b>	<b>2,050</b>
<b>特別利益</b>	
固定資産売却益	1
貸倒引当金戻入額	16
<b>特別利益合計</b>	<b>17</b>
<b>特別損失</b>	
固定資産売却損	0
固定資産除却損	8
<b>特別損失合計</b>	<b>8</b>
<b>税引前四半期純利益</b>	<b>2,059</b>
法人税、住民税及び事業税	758
法人税等調整額	△113
<b>法人税等合計</b>	<b>645</b>
<b>四半期純利益</b>	<b>1,413</b>

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期キャッシュ・フロー計算書 単位：百万円

科目	当第2四半期 累計期間 (H20.4.1~H20.9.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,991
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,345
財務活動によるキャッシュ・フロー	△572
現金及び現金同等物の増減額	△926
現金及び現金同等物の期首残高	21,303
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,376

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 「参考資料」前年同四半期に係る財務諸表  
中間損益計算書 単位：百万円

科目	前中間会計期間 (H19.4.1~H19.9.30)
<b>売上高</b>	<b>9,690</b>
売上原価	5,627
<b>売上総利益</b>	<b>4,063</b>
販売費及び一般管理費	5,031
<b>営業損失</b>	<b>△968</b>
<b>営業外収益</b>	
営業外収益	75
営業外費用	12
<b>経常損失</b>	<b>△905</b>
<b>特別利益</b>	
特別利益	30
<b>特別損失</b>	
特別損失	256
<b>税引前中間純損失</b>	<b>△1,131</b>
法人税、住民税及び事業税	30
法人税等調整額	△442
<b>中間純損失</b>	<b>△719</b>

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 会社概要

設立 昭和41年10月1日  
 本社 大阪市中央区内本町一丁目1番4号  
 従業員数 374名  
 事業内容 パチンコ遊技機・パチスロ遊技機の開発、製造、販売

## 役員

代表取締役社長 松元邦夫  
 取締役副社長 松元正夫  
 専務取締役 井上孝司  
 常務取締役 永田和政  
 取締役 松元恵子  
 取締役 辻田隆  
 社外取締役 坪本浩一郎  
 常勤監査役 近藤邦博  
 社外監査役 堀弘二  
 社外監査役 川添嗣夫

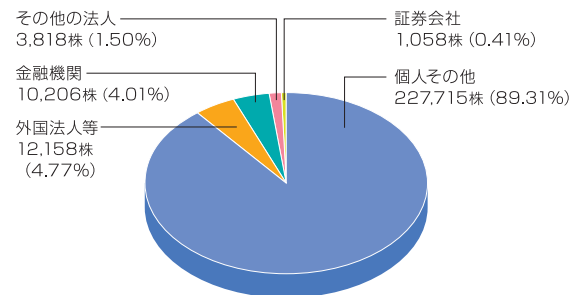
## 事業所

名古屋事業所 (名古屋工場および開発部)  
 東京開発事業所  
 東京支店 横浜営業所 広島営業所  
 大阪支店 八王子営業所 高松営業所  
 札幌営業所 静岡営業所 福岡営業所  
 青森営業所 名古屋営業所 熊本営業所  
 仙台営業所 金沢営業所 鹿児島営業所  
 千葉営業所 京都営業所  
 埼玉営業所 神戸営業所

## 株式の状況

1) 発行可能株式総数 800,000株  
 2) 発行済株式の総数 254,955株  
 3) 株主数 6,602名

### 所有者別株主分布



### 4) 大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
松元邦夫	95,560	37.48
松元正夫	65,626	25.74
釣谷香揚子	24,280	9.52
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,863	1.12
藤商事従業員持株会	2,857	1.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,723	1.07
松元恵子	2,600	1.02
モルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・インターナショナル・ビーエルシー	2,175	0.85
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	1,878	0.74
ステートストリートバンク・アンド・トラスト・カンパニー 505025	1,566	0.61

## トピックス

### ■ 上場会社の株券電子化がスタートします

2009年1月の株券電子化に伴い、株券をお手元(ご自宅、貸金庫など)にお持ちの株主の皆様は手続きが必要となる場合がございますので、同封の株券電子化に関するリーフレットをご覧ください。

### ■ 社会貢献活動への取り組み

藤商事では、良き企業市民として地域社会との良好な関係を築くため、積極的に社会貢献活動に取り組んでおります。

#### ● 環境保全活動

平成20年10月に開催されました「荒川クリーンエイド」(東京)、「コスモアースコンシャスアクトクリーンキャンペーン」(愛知)への参加、また、11月に開催されました「クリーンおおさか2008」への参加など、各地域で開催される清掃活動に積極的に協力しています。

#### ● 地域福祉活動

名古屋事業所では年2回、愛知県赤十字血液センターを通じて献血活動を行っており、本年は6月と11月に実施いたしました。また、救急時に応急処置のできる体制づくりの一環として、事業所内にAED(自動体外式除細動器)を設置し、9月には一宮市から「救急認定事業所」に認定されました。



## 株主メモ

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社  
 同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

## ホームページ紹介

藤商事のホームページでは、皆様楽しんで頂けるよう、様々な情報をご提供しています。



ホール様専用サイトでは、支援活動の一環としてPOP素材提供などを行っています。



携帯メディアを使った情報サービスも行っていきます。

藤商事公式携帯サイトでは、多彩なコンテンツを公開中!!

CONTENTS  
 ・アプリ ・着うた ・待受画像 ・待受アプリ  
 ・着メロ ・着ボイス ・動画 ・待受フラッシュ

Navigation menu for mobile site with buttons for i-mode, EZweb, Yahoo! Keitai, and various content categories like menu, search, and entertainment.

●「i-mode」及び「i-モード」は株式会社NTTドコモの登録商標です。  
 ●「EZweb」はKDDI株式会社の登録商標です。  
 ●「Yahoo! ケータイ」及び「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

月額315円(税込)

郵便物送付先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10  
住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話照会先 (住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417  
(その他のご照会) ☎0120-176-417  
 ホームページ http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html  
 同取次所 住友信託銀行株式会社 全国各支店



# BUSINESS REPORT

